

科目名	クリエイションテクニックⅢ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習80%
時間数	240	作成者	渡辺杉子

【科目の到達目標】

既製服のデザイン・縫製の一貫した知識と技術を持った人材の育成。

【科目の概要】

素材の多様化、縫製機器の発達に伴い、デザイナーにとって新しい素材、機器に通じていることはとても重要である。新しい縫い方や異素材を取り入れ、縫製工程を分析し、作品を仕上げることによって既製服縫製のテクニックの修得を目指す。

デザイン、製図、シルエットチェック、仕様書、工業用パターン作成、縫製の実習。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2・3・4	●プレタ展作品	61・62・63・64 ●上田学園コレクション作品
5・6・7・8	●プレタ展作品	65・66・67・68 ●テーラードジャケット
9・10・11・12	●プレタ展作品	69・70・71・72 ●テーラードジャケット
13・14・15・16	●プレタ展作品	73・74・75・76 ●上田学園コレクション作品
17・18・19・20	●創作作品(パリ出品、または就職対応)	77・78・79・80 ●上田学園コレクション作品
21・22・23・24	●創作作品(パリ出品、または就職対応)	81・82・83・84 ●上田学園コレクション作品
25・26・27・28	●プレタ展作品	85・86・87・88 ●上田学園コレクション作品
29・30・31・32	●プレタ展作品	89・90・91・92 ●上田学園コレクション作品
33・34・35・36	●創作作品(パリ出品、または就職対応)	93・94・95・96 ●上田学園コレクション作品
37・38・39・40	●創作作品(パリ出品、または就職対応)	97・98・99・100 ●上田学園コレクション作品
41・42・43・44	●就活作品	101・102・103・104 ●テーラードジャケット
45・46・47・48	●就活作品	105・106・107・108 ●テーラードジャケット
49・50・51・52	●就活作品	109・110・111・112 ●テーラードジャケット
53・54・55・56	●就活作品	113・114・115・116 ●テーラードジャケット
57・58・59・60	●就活作品	117・118・119・120 ●テーラードジャケット

【成績評価方法】

課題作品 10点の評価60 %、 期末試験 30% 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版口

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版口

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	パターンメイキング		
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 % 実習 %
時間数	120	作製者	渡辺杉子
【科目の到達目標】 基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う			
【科目の概要】 基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1・2	●パターンメイキング概論	31・32	●パンツ
3・4	●ジャケットマニピュレーション	33～38	
5・6	●襟		
7・8	●2枚袖	39・40	●ラグランスリーブ、きものスリーブ
9・10		41・42	
11・12	表地の工業パターン作成		
13・14	表襟・見返しもパターン作成	43・44	●キッズ
15・16	裏地・芯地の工業パターン作成	45・46	
		47・48	●メンズジャケット
17・18	●ゴージダーツ	49・50	
19・20	●ブラウス	51～58	●レディースアイテム デザインブラウス
21・22			
23・24			
25・26	●グレーディング	59・60	後期試験
27・28			
29・30	前期試験		
【成績評価方法】 完成パターン、立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題表評価60% 試験評価 30% 授業研究態度10% 以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する			
【教科書・参考書】 江副玲子 パターンメイキング3年 梶尾純子 グレーディング 実物見本 プリント			
【教材・教具】 実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等			

科目名	クリエイションドローイングⅢ	整理番号	
学科	トップクリエイター	期	通年
コース	トップクリエイター		昼間
学年	3	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

1年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画

90分/コマ

前期

後期

1・2	ヌード、顔、ヘア、手足の復習	31・32	全国ファッション画コンクール
3・4	アナライズ	33・34	ファッションクロッキー
5・6	就職対策(画材表現)	35・36	早描き
7・8	就職対策(ポージング)	37・38	アイテム画表現
9・10	就職対策(着装とハンイラ)	39・40	アイテム画表現
11・12	プレタ展の作品表現	41・42	アクセサリ表現
13・14	プレタ展の作品表現	43・44	アクセサリ表現
15・16	就職対策(パターンからデザイン)	45・46	アクセサリ表現
17・18	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	47・48	トータルコーディネート表現
19・20	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	49・50	加工指図書用のデザイン画表現
21・22	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	51・52	加工指図書用のデザイン画表現
23・24	1920年から1990年代のイラストを学ぶ	53・54	創作ドローイングⅠ
25・26	デザイン画選手権の作品製作 1(ラフ)	55・56	創作ドローイングⅠ
27・28	デザイン画選手権の作品製作 2(下絵)	57・58	創作ドローイングⅡ
29・30	デザイン画選手権の作品製作 3(着色)	59・60	創作ドローイングⅡ

【成績評価方法】

課題作品の評価 60%、期末試験 30%、授業態度 10%

【教科書・参考書】

立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年
NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA

【教材・教具】

ケント紙、ドローイングペン、着色画材など

科目名	クリエイションデザイン論Ⅲ-A	整理番号	
学科	トップクリエイター	期	通年
コース	トップクリエイター		昼間
学年	3	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	大槻剛

【科目の到達目標】

クリエイティブデザインを考えるとときに、衣服の変遷、アイテムの構造、アート、時代性を知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてクリエイティブデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

独創的なクリエイションやデザインとビジネスラインとの連携について理解を深めるための講義と演習

**【授業計画
90分/コマ**

前期		後期	
1	3年クリエイションデザインの概要	16	パリコレクションと東京コレクション
2	プレタ展企画1	17	パリコレクションと東京コレクション
3	プレタ展企画2	18	パリコレクションと東京コレクション
4	プレタ展企画3	19	ファッションとカルチャー1
5	プレタ展企画4	20	ファッションとカルチャー2
6	就職対策企画1	21	ファッションとカルチャー3
7	就職対策企画2	22	ファッションとカルチャー4
8	就職対策企画3	23	ファッションとカルチャー5
9	就職対策企画4	24	オリジナル企画1
10	就職対策企画5	25	オリジナル企画2
11	産学連携プログラム1	26	オリジナル企画3
12	産学連携プログラム2	27	オリジナル企画4
13	産学連携プログラム3	28	オリジナル企画5
14	上田学園コレクション1	29	オリジナル企画6
15	上田学園コレクション2	30	まとめ

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックススケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	クリエイションデザイン論Ⅲ-B	整理番号	
学科	トップクリエイター	期	通年
コース	トップクリエイター		昼間
学年	3	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	大槻剛

【科目の到達目標】

クリエイティブデザインを考えるとときに、衣服の変遷、アイテムの構造、アート、時代性を知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてクリエイティブデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

独創的なクリエイションやデザインとビジネスラインとの連携について理解を深めるための講義と演習

**【授業計画
90分/コマ**

前期		後期	
1	3年クリエイションデザインの概要	16	東京コレクションレポート①
2	トレンド研究①	17	東京コレクションレポート②
3	トレンド研究②	18	東京コレクションレポート③
4	オリジナルデザインブックの制作①	19	デザイナー研究①
5	オリジナルデザインブックの制作②	20	デザイナー研究②
6	オリジナルデザインブックの制作③	21	デザイナー研究③
7	オリジナルデザインブックの制作④	22	デザイナー研究④
8	オリジナルデザインブックの制作⑤	23	デザイナー研究⑤
9	オリジナルデザインブックの制作⑥	24	オリジナル企画1
10	オリジナルデザインブックの制作⑦	25	オリジナル企画2
11	オリジナルデザインブックの制作⑧	26	オリジナル企画3
12	オリジナルデザインブックの制作⑨	27	オリジナル企画4
13	オリジナルデザインブックの制作⑩	28	オリジナル企画5
14	プレゼン	29	オリジナル企画6
15	まとめ、テスト	30	まとめ、テスト

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックススケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	ドレーピング	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

各種デザインのディテールやシルエットを立体で表現するドレーピングの技術を習得。
服のフォルムに対しての感性を高める。

【科目の概要】

立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、スピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。
ボディを使用した立体裁断によりデザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期	【授業計画】 90分/コマ	後期
		1・2	●カウルネック
		3・4 5・6	●ビスチェ
		7・8 9・10	●タイトスカート
		11・12	●フレアスカート
		13・14 15・16	●ギャザーブラウス
		17・18 19・20	●「ドレーピング概論」 ●ショルダーカット(ダーツ) ●各種ダーツ
		21・22 23・24 25・26	●ショルダー切り替え ●プリンセスライン
		27・28	●ドレープとフリルのスカート
		29・30	試験

【成績評価方法】

課題の評価60%
期末試験の評価30%
授業態度の評価10%

【教科書・参考書】

江副玲子『ドレーピング2年』最新版 オリジナルプリント

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、ボディーテープ、肩パッド、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	2年、3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的のもの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画90分/コマ】

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	コンピュータ演習 III	整理番号	
学科	トップクリエイター	期	通年
コース	トップクリエイター		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

描画や画像加工、表計算等のアプリケーションに習熟し、企画書などの書類が作成できる。
また、作成した書類を基にプレゼンテーション発表できる。

【科目の概要】

様々な書類や画像がデジタル化する時代にあり、作成したデータをより美しく、伝わりやすい書類にすべく、グラフィカルな観点からアプリケーションの操作を解説し、演習による習熟を促す。
また、作成したデータをネットワーク内や端末機器で閲覧、加工できる操作方法等を解説する。

【授業計画

90分/コマ

前期

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1	スプレッドシートスケジュール作成共有設定	31	商品企画2 企業向け商品																										
2		32																											
3	プレタ展DM	33																											
4		34																											
5		35																											
6		36																											
7		37																											
8		38																											
9	インビテーションカードデザイン	39	商品企画3 企業向け商品																										
10		40																											
11		41																											
12		42																											
13		43																											
14		44																											
15	プレタポルタ展ポートフォリオ作成	45	プレゼンテーション																										
16		46																											
17		47	商品企画4 企業向け商品																										
18		48																											
19		49																											
20		50																											
21	商品企画1 産地素材	51																											
22		52																											
23		53	プレゼンテーション																										
24		54																											
25		55	上田学園コレクションポートフォリオ																										
26		56																											
27		57																											
28		58																											
29	プレゼンテーション	59																											
30		60																											

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

『ファッションビジネス[I]』財日本ファッション教育振興協会刊 H21年改訂版
『フォトショップ&イラストレータ活用術』李廣魯・鄭貞子 著 織研新聞社刊 2007年第1版

【教材・教具】

教材:プリントやPDF等で配布 準備物:筆記用具
アドビ社イラストレータ、フォトショップ Googleクラウドサービス

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 100 %
時間数	60	作成者	秦野知邦
【科目の到達目標】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。 ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。 ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。 			
【科目の概要】			
<p>ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える グループミーティングやプレゼンなどを取り入れ、自分の言葉や行動で表現する。 最新の業界の情報を新聞やリサーチなどで自分で行動して調べ、ファッションビジネスを理解する。</p>			
【授業計画 前期		後期	
90分/コマ			
1	世界のコレクションとプロモーションについて	16	ファッションビジネスの魅力について
2	即戦力⇒企業が求める人材とは	17	SPAとOEMと総合商社と繊維商社について
3	プロフェッショナルについて	18	メーカーにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
4	セレクト系・メーカー系・グローバル系SPA	19	ショップにおけるマーチャンダイジング(Ⅲ)
5	タイプ別SPAのショップをリサーチする	20	アパレル市場とマーケティング(Ⅲ)
6	タイプ別SPAを比較して分析する	21	アパレル戦略のプロセス(Ⅲ)
7	就活用としてのリサーチ資料を作成	22	現状のマーケット市場のリサーチ
8	資料内容をグループミーティングでプレゼン	23	就活用としての資料を作成
9	ファッションビジネスのトレンドを追う	24	リサーチ内容をグループミーティング・プレゼン
10	ファッションビジネスのトレンドを検証する	25	百貨店・ファッションビル・路面店への販路は
11	ファッションブランド戦略について	26	トップ販売員について
12	ブランディング・ブランドエクイティについて	27	取引と取引条件について(Ⅲ)
13	即戦力としての計数知識	28	マーチャンダイジングの成果と計数
14	仕事への自覚と準備	29	ファッションビジネスの展望と課題(Ⅲ)
15	期末テスト	30	期末テスト
【成績評価方法】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業における評価 40% ・ プレゼンテーション 30% ・ 期末試験 30% 			
【教科書・参考書】			
日経MJ・織研新聞・読売新聞・WWD・プレジデント			
【教材・教具】			
ノート・筆記用具			

科目名	映像実習Ⅲ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	30	作成者	平原 栄治

【科目の到達目標】

映像表現に必要なソフトウェアを学習する。
作品発表のためのホームページを制作し、IT社会に対応するプロモーション技術を習得する。

【科目の概要】

現代のファッションビジネスに対応するため、基本的なソフトウェアの使い方を修得する。
講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用してそれぞれの課題を取り組み、目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなせる。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	授業ガイダンス・写真实習 Google Chrome Adobe Photoshop等	
2	写真实習 Google Chrome Adobe Photoshop等	
3	プレタ展動画制作 Google Chrome Adobe Photoshop等	
4	プレタ展動画制作 Google Chrome Adobe Photoshop等	
5	プレタ展動画制作 Google Chrome Adobe Photoshop等	
6	プレタ展動画制作 Google Chrome Adobe Photoshop等	
7	グラフィック・デザイン演習 Adobe Photoshop Adobe Illustrator	
8	グラフィック・デザイン演習 Adobe Photoshop Adobe Illustrator	
9	パリコレ制作実習 Powerpoint Adobe Premier 等	
10	パリコレ制作実習 Powerpoint Adobe Premier 等	
11	パリコレ制作実習 Adobe Premier Adobe Aftereffect等	
12	パリコレ制作実習 Adobe Premier Adobe Aftereffect等	
13	作品プロモーションまとめ	
14	作品プロモーションまとめ	
15	テスト	

【成績評価方法】

課題点 70%
テスト 20%
平常点(授業態度) 10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン ・USBメモリー ・デジタルカメラ等

科目名	英会話Ⅱ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	15	作成者	衛藤 沙耶加

【科目の到達目標】

簡単な言葉を用いて英語でコミュニケーションをとることに慣れ、臆せず自分の意思を伝える力を鍛えるべく、日常会話をベースにファッション用語や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる生きた英語を習得する。

【科目の概要】

日常会話を中心に英語でコミュニケーションをとる。ファッション関連の語句や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる会話などを習得する。書き取り、音読、暗誦、ロールプレイを使用する。

90分/コマ

1. 2年英会話の復習
2. 作品のプレゼンテーション①
※作品ボディ展示
3. 作品のプレゼンテーション②
4. 作品のプレゼンテーション③
5. 作品のプレゼンテーション④
6. プレタ展案内英会話①
7. プレタ展案内英会話②
8. プレタ展案内英会話③
9. LVMH企画プレゼンテーション英語①
10. LVMH企画プレゼンテーション英語②
11. LVMH企画プレゼンテーション英語③
12. パリコレ英会話①
13. パリコレ英会話②
14. パリコレ英会話③
15. 期末テスト／ おすすめの教材の紹介

【成績評価方法】

ダイアログ、基本構文の暗誦等の表現能力60% 期末筆記テスト30% 授業態度と出席率10%

【教科書・参考書】

講師作成のスライド(状況設定したダイアログ)
ネイティブの発音のためのYoutubeなどのビデオ

【教材・教具】

筆記用具(ノートとペン)

科目名	ニットデザインⅡ-A	整理番号	
学科	トップクリエイター	期	前期
コース	トップクリエイター		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	重本昌利

【科目の到達目標】

ニットの基礎知識を有して、その知識を用いてオリジナルのニット製品を企画する事が出来る
ニットデザイナーの養成を目標とする。

【科目の概要】

現在市場で販売されるアパレル商品の中で、ニット製品の占める比率は大変多い。
また、カットソーとニットのドッキングなど、生地とニット両方の知識を有したデザイナーが必要とされている。
織生地と、ニット生地の違いを比較しながらニットの基礎知識の理解を深めていく。

【授業計画】

180分/コマ

- 1 ニットの基礎復習
- 2 ニットの基礎復習
- 3 パリ企画編地企画
- 4 パリ企画編地企画
- 5 パリ企画編地企画
- 6 パリ企画編地制作
- 7 パリ企画編地制作
- 8 パリ企画編地制作
- 9 パリ企画編地制作
- 10 パリコレ作品縫製
- 11 パリコレ作品縫製
- 12 パリコレ作品縫製
- 13 パリコレ作品縫製
- 14 パリコレ作品縫製
- 15 まとめ

【成績評価方法】

課題評価 50% 期末試験 40%、平常点 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

A4用紙 縦型A4フラットファイル
SDS-ONE(ニットCAD) SES122-S 8G (コンピューター制御横編み機)